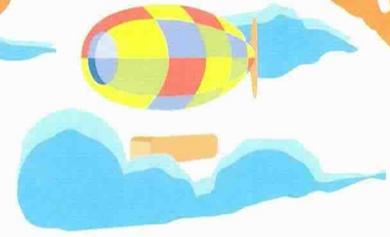


NO.73 SHIMIN PHOTO 市民フォト 庄比児島

平成10年7月1日発行



わがまち上空散歩



小山田町上空から

深い山林と美しい水田、そして広がる集落。ご覧の写真は、市の北西部に位置する小山田町上空から撮影したものです。

写真中央を横断する道路は国道3号。福岡県北九州市を起点に鹿児島まで延びる九州の陸の大動脈です。また、国道3号から手前に延びるのは国道328号。この小山田町を起点に出水市まで延びており、北薩各地と鹿児島市を結ぶ重要な道路となっています。

写真中央からやや左寄りに見えるのは小山田小学校。明治二十五年の創立で、現在の児童数は百四十三人（平成十年六月一日現在）。校内には、親孝行の兄弟をまつた「孝子碑」が建てられており、毎年七月には校区ぐるみで盛大な供養祭を開いています。

ところで、小山田町は県下有数の竹の産地。小学校の隣には市の竹産業振興センターがあります。こちらは、竹工芸技術の研修や竹製品の製造拠点に利用されているほか、市民向けの講座や「竹のいち」竹編みの実演、竹製品の展示販売などが開かれます。

写真奥に目を移すと、両端の山中に大きな施設が見えます。一つは健康の森公園（左）で、もう一つは都市農業センター（ともに大迫町）です。両施設とも、自然の中で季節を感じながら楽しめる施設として多くの市民に親しまれています。きれいな空気と豊かな緑。小山田町は、私たちがなかなか手にすることのできない、自然の恵みがいっぱいです。



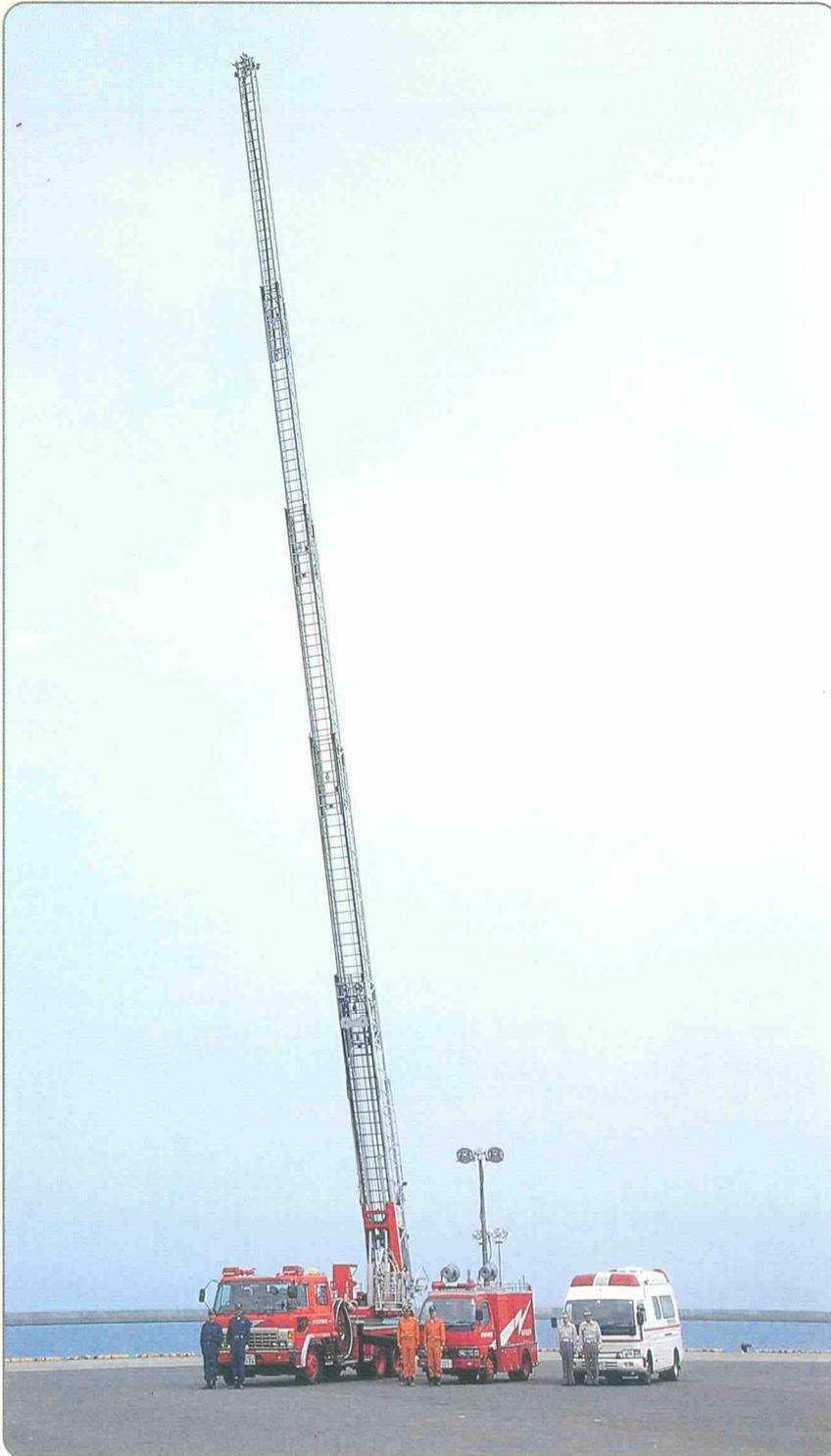
CONTENTS

「特集」消防局の一日	3
クローズアップ	
● 宮田淳一さん	12
ハロ―鹿児島	
● フラー・ハルさん	14
シティーアングル	
● 夏のボックス	15
カメラトビックス	16
学校探訪	
● 南小学校	18
わたしの好きな場所	
● 瀬戸正徳さん	20
ふるさとの歴史探訪	
● 西郷と大久保 （幕末・明治維新）	22
あなたのフォトサロン	
● 出羽慎一さん	24
よかタイム	
● 橋元秀則さん	26
かごしまの自然	
● 東桜島にて	27
市民ギャラリー	
● 谷山市民会館	28
誌上「市営施設見学会」	
● 維新ふるさと館	30
市立美術館	
● より誤謬少ない鯨図2×	31

● 表紙写真について

オープンから一年あまりのかごしま水族館。一階のタッチプールから子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきます。これ生きている！ヒトデやナマコ、ウニなどに歓声を上げる子どもたち。新しい発見に感動し、生命の不思議を感じているようです。茶色のベストを着た女性は水族館ボランティアの熊合有輝子さんです。

救急・救助・消火・予防 市民を守る消防局の一日



まさかの災害、思わぬ事故。そんな場面で真っ先に浮かぶのが119番通報。24時間体制で出動に備える消防局の一日を紹介します。



消火栓、防火水槽も定期的にチェック



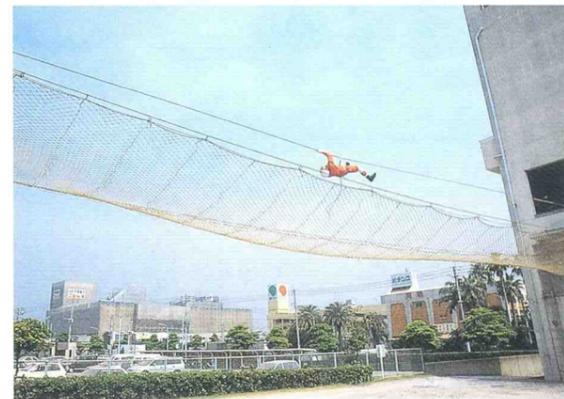
公園内の60トン水槽



危険物貯蔵施設への査察



通信指令室も二十四時間体制で緊急通報に備えている。年間の緊急電話数は四万五千二十八件(平成八年)。中にはいたすら問い合わせなど緊急通報以外の通話も数多く含まれる



日ごろからの訓練がいざというときの力となる



火災現場では、防火服、空気呼吸器など約十五キログラムの装備を身につけ活動する

消防局の一日



勤務明けの隊員(左から引き継ぎを受け消防局の一日は二十四時間が始まる)



運行前点検は欠かせない

機器の点検は念入りに



消防について語る

火には細心の注意を!

福留 岩見さん(元鹿児島市消防長)



私が市消防本部に入ったのは、昭和24年(1949年)。それまでは警察で消防業務を担当しており、市町村が消防業務を行うことになったために移ってきました。

発足当初の鹿児島消防署は十分な装備や人員もなく、今思うととても市民の期待に応えられない状況にはなかったと思います。その後、消防力の充実に努め、また時代の変化に合わせて化学車やはしご車を導入するなど、市民の安全・財産を守るために力を注ぎました。

ところで、最近では防火思想の定着、家屋の構造変化、消防体制の充実などがあり、昔のような大きな火災はなくなりました。しかし、ひとたび火災が起こると、尊い人命や財産が奪われることになりかねません。これからも市民一人ひとりが細心の注意を払って、火とつきあっていかなければならないと思っています。



延焼防止に懸命の作業が続く

地域の安全を守る消防団

木元 信夫さん(鹿児島市消防団副団長)



私が消防員(現在の消防団員)を拝命したのは、昭和22年(1947年)。以来50年あまり消防に関わってきました。

消防団員は常勤の消防職員とは異なり、自営業やサラリーマンなど別に仕事を持っています。そして、災害などが発生すると、仕事を置いて現場へと出動します。このため自分の仕事と消防団活動を両立させるためには、自分自身の努力と周りの人たちの理解がなければなりません。

ところで、市内には現在900人近い消防団員がおりますが、その多くは地元の有志です。常勤の消防職員のようなハードな訓練はできませんので、日ごろから自己管理を徹底し、いざというときに備えています。これからも自分たちの住む街が安全で住みよい街であるように防火・防災思想の普及に努め、また災害発生時には被害を最小限にとどめるために頑張っていきたいと思っています。



勢揃いした消防団員

大切な幼児からの教育

脇田 正さん(和光幼稚園幼年消防クラブ指導者・和光幼稚園園長)



火は人々の生活になくてはならないもの。しかし、その使い方を誤れば大変なことになります。何にでも興味を持ち、大人のまねをしたがる幼児に火の大切さ、恐ろしさを教え、また、災害時の身の守り方を身につけさせることは非常に重要です。

現在多くの幼稚園では、地震や火災を想定した避難訓練や消防署見学などを行い、自分を守ることを、そして友だちを守ることを、ひいては命の大切さを繰り返し教えています。

これからの季節、花火など子どもとともに火を使う機会も多いかと思いますが、学校・幼稚園だけでなく、家庭や地域でも子どもと大人が一緒になって、火について考えてみたいものだと思います。



火遊びは絶対にしません

安心はかねての心がけから

塚田 政宣さん(鹿児島市自衛防火協会会長)



家庭に消火器があるように、店舗や事務所、そして工場にも火災や地震など災害時の備えが必要です。

多くの従業員が働き、さまざまな人々が出入りする場所でひとたび火災が起こったら…。過去大惨事になった例は数多くあります。人命を守り、職場を守るためには、一人ひとりが自分のすべきことを理解し、迅速・的確に行動しなければなりません。多くの事業所では消火訓練、避難訓練を行い、いざというときに備えています。

ところで、私たちと消防署の関係は火災や地震などの災害発生時だけではなく、建物の建築時には必要な消防用設備などについて相談をし、またその後も定期的にチェックを受けるなどして、安全の確保に努めています。

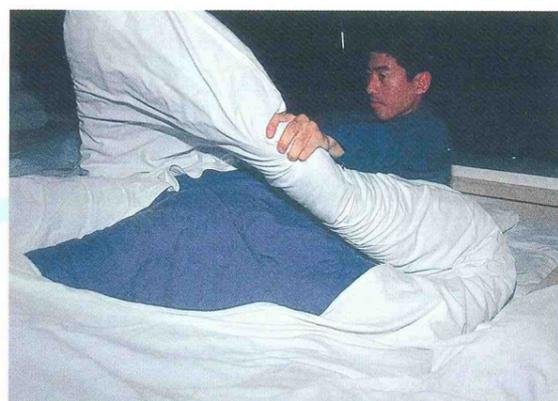
家庭でも事業所でも一緒。きちんとした備え、心がけがあれば、まさかの時にも落ち着いて行動できるのではないのでしょうか。



消火確認!



夕食中でも出動指令が…。指令を聞き終わるころには、すでに部屋を飛び出している



仮眠中でもすぐに行動できる態勢にある



二十四時間体制で出動に備える



さまざまな事態を想定し、出動に備えています。



●救助工作車は約80種類の機材を積み込み、火災や交通事故はもとより水難事故、酸欠事故などに即応できる態勢をとっている



●高規格救急車には救急救命士が乗り込み、けが人や病人に対して高度な手当を行いながら、病院へ運ぶ



●照明電源車による光は、200メートル先で新聞が読めるくらいの明るさがある



●ミニ消防車は、大型消防車が入って行けない狭い場所などで大きな戦力になる



自然の力は計り知れないものがあります。また、個々の市町村の力だけでは対応しきれない大規模な災害が発生する時もあります。そのようなときには、全国各地の救援隊が協力して活動できる体制を確立していますが、本市もそのネットワークに参加しています。

全国規模や県内での応援体制も整備されているんですね。

消防力の整備は、どういう点に力を入れているのでしょうか？

本市の消防力は、四十六メートル級のはしご車の導入による高層・大規模建築物火災への対応や高規格救急車の導入による救急体制の高度化など、時代の変化に合わせて着実に強化してきました。また最近では、「阪神・淡路大震災」の教訓をもとに、百トンの水を蓄える「耐震性防火水槽」を設置する一方、通信衛星を使って市街地の災害状況を瞬時に東京の消防庁に送れる「画像伝送システム」を導入するなど、大型災害への対応を充実しています。

〔注記〕 *1市内十六カ所の耐震性百トン水槽に加え、大小五百六十四カ所の水槽で災害発生時の消火活動に十分な水が確保できるようにしてある
*2大規模災害発生時の迅速かつ的確な救援に役立つものと期待されている



赤崎義則鹿児島市長

鹿児島市の消防について、市長に聞く

火災や事故、また突然の病気など、まさかの時に頼りにしています。

市民の皆さんが毎日を安全無事に過ごしていただくことが私の願いです。しかし、思わぬ事故や突然の病気など、予想もしないことが起こることもあります。そんな時、市民の安全を守ることが消防の任務です。二十四時間体制で頑張っている消防局の活動に、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



本市の応援隊は、「阪神・淡路大震災」「出水市針原地区での土石流災害」へ出動している。



日ごろの**厳しい訓練**が、出動現場での**落ち着いた、そして機敏な対応**につながる



鹿児島市消防の歴史



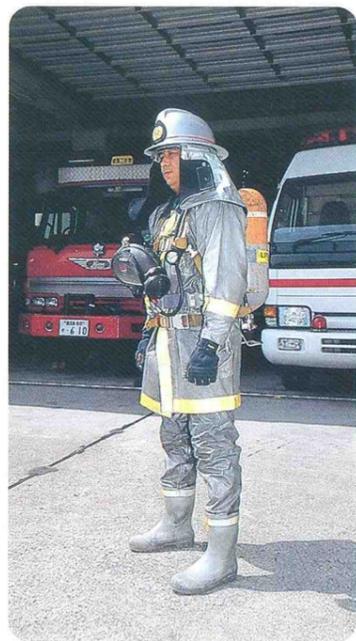
●タンク車(タンク容量千ℓ)



●ミニ車



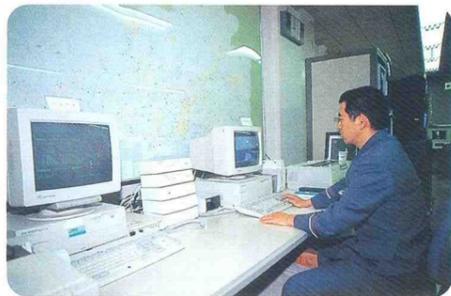
●40メートル級はしご車



●フル装備の隊員



●左から、制服、救急服、作業服、特別救助服



●気象情報室



●消防車の出動(昭和33年)



●郡元望楼(昭和38年)



●昭和39年当時のはしご車と救急車



●はしご車訓練(昭和39年市役所)

江戸時代 制度化された消防組織はなく、主に住民が消火活動にあたる。十分な消火力がなく、延宝8年(1680年)には3308棟が焼失する大火も起こる

明治10年 鹿児島消防仮規則を定め、鹿児島警視出張所(翌年からは鹿児島警察署)に、50人からなる消防組を置く

明治27年 政府勅令消防組規則の公布により第1番組から第4番組までの消防組が誕生する。組員の主体は、仲仕・左官・とび職などの職人

昭和14年 戦時体制による防空強化のため、消防組を警防団に改組。団員の主体は商業やサービス業の従事者となり、軍や警察へ協力して防空・消防・盗難防止などの任にあたる

昭和20年 戦災によりほとんどの消防車両が焼失、警防団も壊滅状態になる(同年12月に警防団再編成)

昭和22年 警防団を母体として消防団が発足(非常勤の消防団員672人)

昭和23年 消防業務は警察から分離され、市町村が担当することになる

昭和25年 鹿児島市消防本部・消防署の設置(常勤の消防職員51人)

昭和25年 小川町大火(火鉢の火が原因・179棟全焼)

昭和33年 鹿児島電話局の自動化に伴い、火災通報が「119番」になる

昭和35年 化学消防車を配備

昭和35年 救急車1台、隊員4人で救急業務開始

昭和36年 連続放火事件起こる(放火次郎=昭和38年逮捕)

昭和36年 港大火(郡元町(現在の三和町)・放火の疑い・751棟全焼)

昭和39年 屈折はしご車を配備

昭和42年 旧鹿児島市と谷山市が合併し、新鹿児島市が誕生。谷山分遣隊を新設

昭和43年 はしご車(30メートル級)を配備

昭和45年 南消防署を新設。鹿児島消防署は中央消防署と改称

昭和46年 消防本部を消防局に改称

昭和47年 特殊装備をもつ救助隊(レスキュー隊)発足、救助工作車を配備

昭和49年 高層ビルの急増などにより、望楼からの火災監視を廃止する

平成元年 国際消防救助隊加盟

平成5年 8・6豪雨災害(17時~24時の119番通報936件)

平成6年 気象情報システム運用開始

平成7年 阪神・淡路大震災に応援隊を派遣

平成8年 緊急消防援助隊に登録

平成8年 画像伝送システム運用開始

平成9年 市消防活動支援OB隊発足

平成10年 出水市針原地区の土石流災害に応援隊を派遣

平成10年 鹿児島市消防発足50年

(平成10年4月1日現在、消防職員386人・消防団員865人)

港大火(昭和36年)



CLOSEUP

クローズアップ

桜島を抱く錦江湾から、世界へと広がる海…
この海を舞台に繰り広げられる「鹿児島カップ火山めぐりヨットレース」
スリリングなレースの陰に、たくさんの人々のサポートがあった。



鹿児島カップ火山めぐりヨットレース実行委員会運営委員
宮田淳二さん

PROFILE

昭和18年3月、北九州市生まれ。
昭和54年から自分のヨットを持ち、レースに参戦。
昭和63年7月に開催された'88鹿児島カップ
火山めぐりヨットレースから実行委員会で活躍している。

本格的な夏到来。この言葉を耳にするころ、鹿児島カップ火山めぐりヨットレースは開催される。十一回目を数える今年は、七月十七日と二十二日に開催される。このレースを当初から支えてきた人々の中に、宮田さんの名がある。

宮田さんのヨットとの出会いは、約二十年前までさかのぼる。宮田さんが経営する店のお客さんに誘われて、初めてヨットへと乗り込んだ。もともと、学生時代にカッター部に所属していた宮田さんは、すぐにヨットの魅力に取りつかれることになる。

「最初に乗せてもらったのは、セーリングクルーザー。キャビンを持つ外洋帆走艇です。でも、本格的にヨットをするんだつたらと、平川で開催されていた小型ヨットのデイニング講習会に参加して、基礎を学びました。ヨットと長く付き合いたいと思ったからでしょう。か、基礎からヨットのことを知りたかって気になったんですよ。」と、当時を懐かしそうに振り返る。

宮田さんが、ヨット好きの集まりである「鹿児島外洋帆走協会」に参加したのは、それからしばらくのこと。当時、発足して間もなかったこの会が、やがて、ヨットを楽しむ人々

の層を拡大していく原動力となる。そして、この協会での活動が、やがて火山めぐりヨットレースと宮田さんを結び付ける。

昭和六十三年七月、本市で「鹿児島国際火山会議」が開催された。そして、この会議開催に合わせて企画されたイベントの一つが、'88鹿児島カップ火山めぐりヨットレースである。このレースのプラン作成、県内外への参加の呼びかけなどの役目を引き受けたのが、宮田さんだった。以来、今回まで、ずっとこの大会を支えている。

「ヨットレースへの参加者は、海を帆走して鹿児島にやって来る。開聞岳の沖を過ぎ、桜島が目に飛び込んでくる。その雄大な風景が、ヨット仲間を魅了しているんです。彼らは鹿児島島の海の素晴らしさを肌で感じてくれ、そして、それを仲間にも伝えてくれる。鹿児島島の海の素晴らしさが全国に知れ渡っていくのを、回を重ねることに感じていますね。これからは、鹿児島島の海を積極的にPRするために、このヨットレースのお手伝いをしたい。」と、目を輝かせる。

ふと、遠くに視線を送りながら、宮田

さんの言葉は続く。

「ヨットに乗っていると、鹿児島は南の玄関口だと感じます。南へ開けた海。この地理的な条件をもっと生かしていければ。」

宮田さんの思いは、潮や風の流れに乗り、海を渡っていく。

「私は北九州の出身で、幼いころは門司に住んでいたんですよ。門司から眺めるのは、大型船の行き交う『交通ルート』となっている海。やがて、大学入学を機に来鹿。鹿児島に来て、自然のままの海

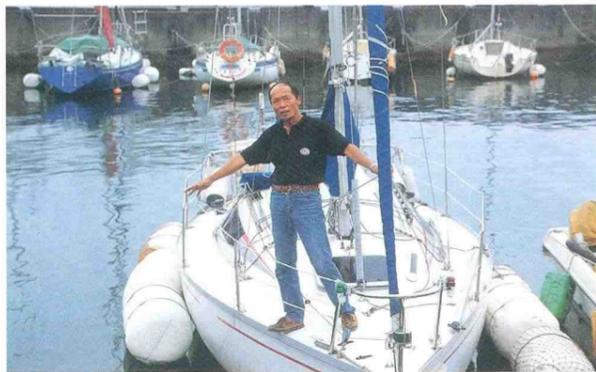
の素晴らしさを実感したときの驚きを、つい昨日のこのように覚えています。海は、みんなが憩う場所であってほしい。そういう意味で、昨年開館したかこしま水族館は、人々を港の近くに呼んでくれる、みんなに潮風の香りを届けてくれる、そういう施設だと思っています。」

宮田さんは、元来、海の生き物にも興味があり、現在、かこしま水族館で水族館ボランティアとしても活躍している。

「子どもたちに、海や海で暮らす生物の素晴らしさをどうやって伝えようかと苦しんでいます。子どもたちとのふれあいを通じて、自分も少し成長した気がします。これからも、鹿児島島の海に親しんでいきたいですね。」

日に焼けた顔に、白い歯がのぞいた。そして、最後に、こう話してくれた。

「多くの仲間が鹿児島に来てほしい。そのために、鹿児島に着いたら安心して過ごせると思ってもらえるようなマリナー・ハーバーができればうれしいですね。」



ヨット「じゃむ号」が、宮田さんを乗せ海原を駆け抜ける…



フラー・ハルさん
(オーストラリア)

Fleur Hull

ハロー
HELLO
鹿児島

本市と姉妹都市であるパース市出身のフラー・ハルさん。昨年八月から市の国際交流アドバイザーとして活躍しています。

現在の仕事は、国際交流に関するイベントの企画や講演、そしてインターネットのホームページや情報誌の作成。また、市民団体や学校・幼稚園での交流を積極的に行うなど、その活動は多方面にわたっています。

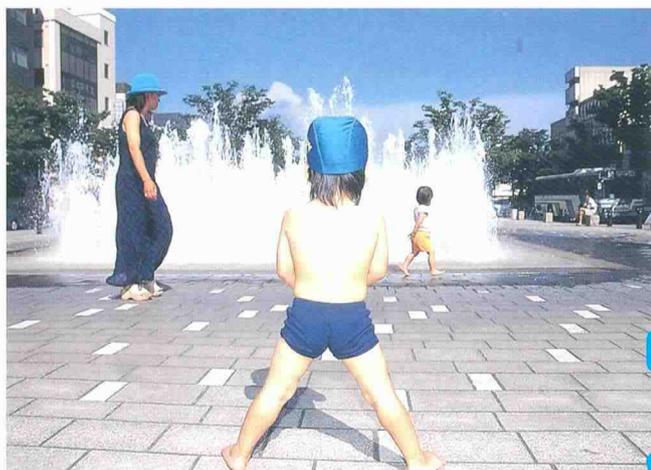
鹿児島に来て一年。多くの市民と交流を重ねてきましたが、そこで感じたのは、地元の人の郷土に対する誇りや愛情だと言います。建国して約百年、移民の多いオーストラリアと違い、鹿児島の人は地元の歴史や人物のことをよく知っており、そこから地元鹿児島に対する思いが伝わってくるそうです。



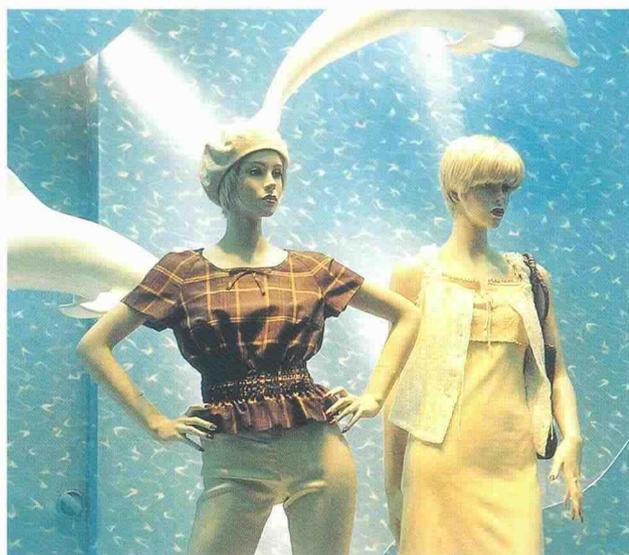
多忙な毎日を送るハルさんですが、これからやりたいことを尋ねると、「琴やお茶といった日本の文化芸術を学ぶこと」、そして「鹿児島の歴史をもっと勉強して、外国人のために英語の本にまとめること」と言う答えが返ってきました。鹿児島とオーストラリア、そして世界との架け橋になろうという気持ちがかがえます。

休日には絵を描いたり、音楽を聴いて過ごすというハルさん。明るく穏やか、そして何ごとにも前向きな姿が印象的な女性です。

シティー **CITY**
ANGLE **アングル**



夏の
ポーズ



5月17日 畜産フェスタ

犬迫町の都市農業センターで開かれた畜産フェスタ。会場には、家族連れなど約15,000人が訪れ、畜産品の試食会や抽選会、家畜とのふれあいコーナーなど盛りだくさんのイベントを楽しんでいました。



5月27日 低公害車出発式

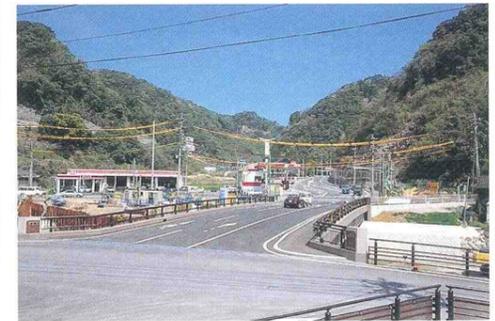
市は二酸化炭素などの排出量を抑えた低公害車を2台導入し、使用を始めました。導入された車は同じ排気量の従来車に比べ、二酸化炭素の排出量が2分の1程度に抑えられるなど、環境にやさしい車となっています。



3月31日 ひまわり橋完成

甲突川の河川改修に伴って架け替え工事が行われていたひまわり橋が完成しました。新しい橋は長さ40メートル、幅12メートルで、新たに国道3号花野口交差点に接続して架けられており、交通の流れもスムーズになったようです。

甲突川の河川改修に伴う橋（市道）の架け替えは、現在16橋が完成し、残るは6橋となりました。



4月12日 渋谷・鹿児島おはら祭

鹿児島の秋の風物詩「おはら祭」が、東京の渋谷に登場しました。祭は、渋谷・鹿児島おはら祭大会実行委員会が主催し、赤崎義則鹿児島市長をはじめとする鹿児島からの踊り連約1,200人と県人会、同窓会などが中心となった現地の踊り連1,200人が一緒になって、日ごろ若者でこつた返す道玄坂通りや文化村通りを鹿児島一色に染めました。



5月12日 防災点検

雨期を前に例年実施している防災点検が、市街地班と桜島班に分かれて行われました。今年は春先から雨が多く、土砂災害を未然に防ぐため、それぞれの地点での防災対策などについて、入念な点検を行いました。



5月13日 パース市親善訪問団来鹿

本市と姉妹都市のパース市ピーター・ナトラス市長ら7人が来鹿、赤崎義則市長を表敬訪問しました。パース市とは昭和49年（1974年）に姉妹都市を盟約、以来24年間、高校生を相互に受け入れるなど交流を深めてきました。



5月20日 平川動物公園



4月3日 慈眼寺公園



6月3日 かがしま健康の森公園



4月5日 皇徳寺団地

緑豊かで 歌声響き 奉仕の心に満ちた 楽しい学校



校内は花と緑でいっぱい



全校生徒での児童集会・音楽集会はとても楽しそう

私達の学校は昭和三十二年四月一日、二十八学級千四百四十七名の生徒でたん生しましたが、ついに平成十年には創立四十周年をむかえることができました。昭和五十三年には三十三学級、千七百六名の生徒がいたということです。今の私達の学校に比べて信じられないほどの人数です。だんだん人数が少なくなってきた感じがしますが、持ち前のまじめさと、「元氣さでがんばっていききたい」と思います。

南小学校は、産業道路と国道225号に囲まれた少し騒々しい所にあります。そのため緑が少なく自然にあまり恵まれていません。しかし、学校には、色とりどりの花やたくさん木が植えられています。私達の学校のシンボルツリーは「たいさんぼく」です。厚ぼつたて大きな葉の間にクリーム色の巨大な花を咲かせています。その他「せんたん」、「楠」、「かし」、「いちよう」、「くるみ」などの木もはえています。また色とりどりの花と緑にかこまれて明るくはなやかな雰囲気があります。この花の種類が多いため「花の学校」ともよばれています。

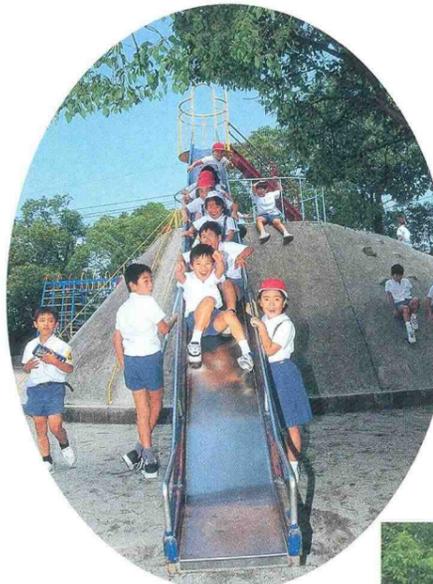
南小学校には、四百九十五名の元氣いっばいの子供たちが毎日楽しく通っています。南小学校には三つの校訓があります。それは「まじめに」「元氣に」「ほがらかに」です。毎日、大きな声であいさつをして、決められた事は最後までまじめにすることをいつも心がけています。

まじめに、元氣に、ほがらかに
六年 丸山 香子

楽しい学校



うまく書けるかな？



昼休みはみんなで仲良く元氣よく



シンボルツリー「たいさんぼく」



みんなで朝の奉仕作業



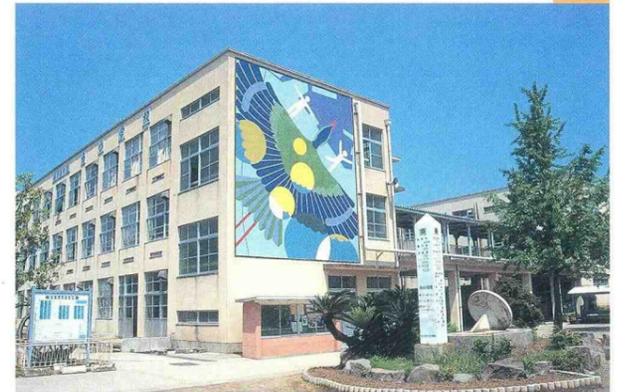
上級生がやさしく教えてくれます

学校探訪

- 創立 昭和32年
- 児童数 495人
(平成10年6月1日現在)



南小学校



大きな声で「おはようございます」

私の好きな場所

木には心がある
語りかけてみよう
あなたの心で



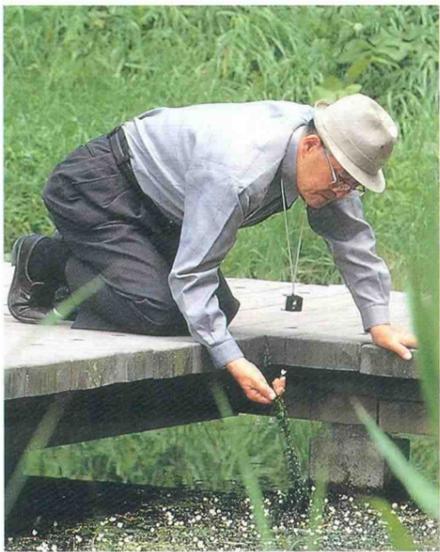
市花と緑の相談員 瀬戸正徳さん

市役所へ提案しました。趣旨は生かされたと思います。

谷底の段々畑はそのまま、ホタルが飛び交う自然観察園に生まれ変わりました。今ある生きものを大事にする、そのやさしい気持ちは十分、市民にも伝わっていると思います。ホタルを見る夕べは例年の大盛況です。

もう一つ健康の森公園で思い出があるのが、正面カナルのケヤキ並木。開園後、枝先が枯れてきたため、樹木診断を行いました。その診断のカルテは、人の診断のカルテより複雑なんです(笑)。そして、土壌の改良と幹の腐った部分を取り除いての外科手術を行いました。今では元気になってくれてホッとしています。

ケヤキは夏に葉が茂り、その涼しげな緑陰に多くの市民が集まってきました。治療した木が多くなる市民に愛されている姿を見るのが、私のなにより幸せな一時なのです。木の治療と言えば、以前うれしかったことがあります。あるご婦人から、亡夫が大切にされていた枯れかかった梅の木が相談がありました。大分重傷だったのですが、できる限りの治療を施しました。次の春、ご婦人から、「今日、きれいな花が十年振りに咲きました」との連絡がありました。ご婦人の気持ちが確かに梅の木に届いたのです。木は心を持っています。そしてその気さえあれば人と木は心を通わすこともできるのです。



自然がそのまま生かされていますね。
~かごしま健康の森公園・自然観察園~

下荒田(八幡小学校近辺)

もう五十年近く前のことになりましたが、下荒田で学生時代の数年間を過ごしました。熊本県の人吉からきてきて、最初に下宿したのがこの地だったのです。鹿児島に来て何よりも感激したのはうつくしい海。下荒田の鹿児島大学水産学部の辺りまで当時は海が迫っていました。浜辺の散歩や海水浴などよく出かけたものでした。

もう一つのすばらしきは人情。大家さんのおつかいで野菜や魚を買いに、よく八幡小学校近くの市場に行きました。こうして歩いてみると、その頃の雰囲気は今も変わらずに残っていますね。野菜を新聞紙に包んで渡してく



私の下宿はこの辺りでした。~下荒田にて~

れる店主の温かい笑顔や野太い鹿児島弁が、今でも鮮やかに蘇ってきます。新聞紙には人と人のぬくもりも包まれていたのです。

その後、私は鹿児島に留まりました。高校で園芸の先生をしたり、市の花と緑の相談員をしている内に、気がつけば四十五年が過ぎていた、それが実感です。しかし私の中で下荒田は、どんなに時が過ぎようとしっかりと根を張って息づいています。それは私にとって、鹿児島島の原点でもあるし、日々の仕事に取り組みしていく上での支えにもなっているのです。

園芸一筋に四十五年。また、花と緑の相談員として、鹿児島市の緑の設計を受け持つ十年。花と緑の市民相談、公園の樹木や花壇の相談、指導など、地道な活動を通して、数多くの緑とそのファンを創りあげてきた瀬戸正徳さん。そんな瀬戸さんが、今回「私の好きな場所」に選んだのが、かごしま健康の森公園と下荒田。希代の名樹木医、瀬戸さんの目と心に映ったものは…。

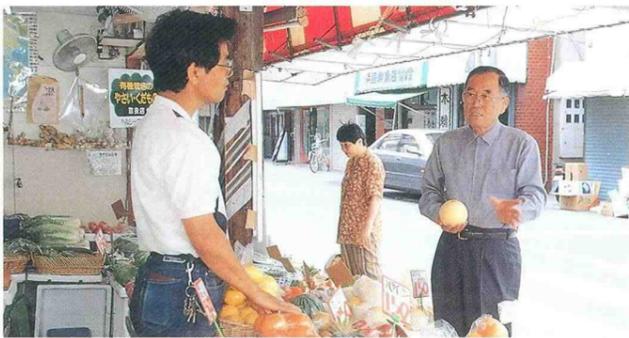


かごしま健康の森公園(犬迫町)

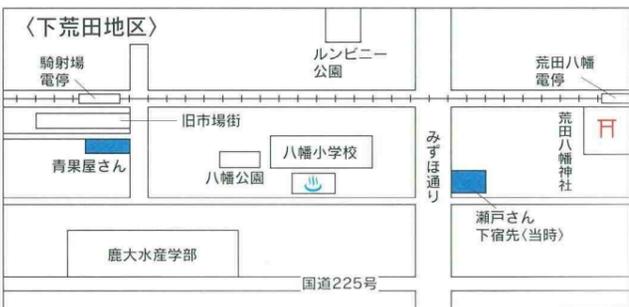
私が鹿児島市から「花と緑の相談員」に任命されたのが十年前。そして、その初仕事は健康の森公園の草木についてのアドバイスでした。

当時、公園はまだ造成前で、一面草木が生い茂る山でした。私の第一感想は、「こんな山中に市民の方が楽しめる公園ができるんだろうか。」でした。

とにかく、現地を見てみると、三三三ヘクタールの広大な山野を歩き回りました。木々につかまりながら、やつとの思いで斜面をよじ登ったりしている内に、ここがすばらしい自然の草木に恵まれているところだということを実感しました。そこで、自然に植生している草木を生かした公園作りを、



このお店で果物を買っていました。~下荒田にて~



【取材メモ】

熊本県人吉市の農家に七人兄弟の末っ子として生まれる。高校生の頃の夢は「野菜の牧場でのカウボーイ」。

その後、鹿児島大学農学部に進み、植物病理学を専攻する。卒業後は、園芸の先生として、植物のすばらしさとナイーブさを高校生へ伝えていく。

三十余年の教師生活の後、昭和六十三年に市の「花と緑の相談員」となり、市民の園芸

相談や市の公園行政の手助けに取り組みしていく。

また、平成五年には市内でも数少ない樹木医の資格を取り、あらゆる面から緑を守り、育てている。

さわやかな春風を常に周りへ送り続けている人。木を愛する人がいて、森は生きる。人を愛する人がいて、都市は生きる。」とは、けだし名言。

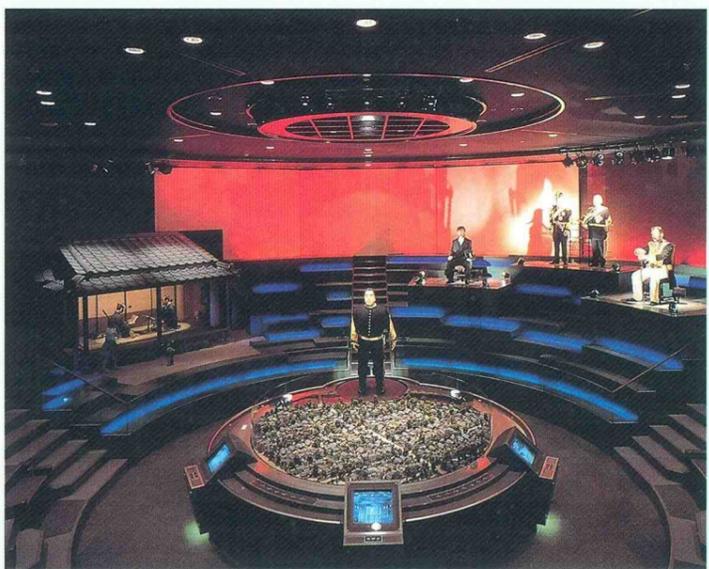
東坂元三丁目の住まいは植物園にもなっている。当年六十七歳。

ふるさとの歴史探訪

今、なぜ西郷・大久保か

—今、西郷さん、大久保さんの生き方が注目されている—
 と言えば、皆さんどう感じるだろうか。
 現在は、大改革の時代。従来の常識や会社が全てだとの価値観は通用しなくなっている。まさに、自分で自分の生き方を模索する時代。
 そんな現代に西郷さん、大久保さんの生き方は多くのことを私たちに投げかけてくる。
 西郷さんは内面の心を大事にした人だ。「たとえ損をしてもやらねばおれない。」という姿勢は、ボランティアをする方などには、よく理解できるのではないだろうか。
 大久保さんは、公私の区別をつけ、全力を傾けて公の仕事に取り組んだ人だ。その公平で清潔なスタイルは、多くの人々が今政治に求めているものではないだろうか。

西郷と大久保 (幕末と維新の回天)



【維新体感ホール】
音と光、ロボットを使った臨場感あふれるシアターで維新のドラマを体感できる。
維新ふるさと館 TEL.239-7700 加治屋町23-1

今号では、生い立ちから明治維新の成立期までの二人を追ってみました。皆さんの新しい西郷さん、大久保さんを発見していただくきっかけになれば幸いです。

二人を育てた郷中教育

西郷・大久保は今から約百七十年前、鹿児島城下の加治屋町(西郷)・高麗町(大久保)で、島津家の下級武士の家に生まれた。
 西郷・大久保ともに、幼少期から天才だったわけではない。むしろごく普通の子どもである。そんな二人を育てたのが、郷中教育である。

郷中教育は、薩摩独自の武士の子弟向けの青少年教育システム。郷中という地域の結社に、六・七歳から二十歳前後までの若者が集まり、集団生活をする。学ぶ内容は、純明快。武士としての誇り、弱い者をいじめない、卑怯なふるまいをしないなどを、集団の中で実地に学んでいくのである。
 西郷は郷中で二歳頭というリーダー役を長く務めた。そこで、「自分の欲望を少し抑えるだけで『徳』が生まれる。徳があれば、人を動かせる。」ことを知ったのだという。



西郷隆盛肖像(肥後直熊画) ~黎明館蔵~

一方、大久保の若き日の日記に、「仲間と二年後、時勢が急転し、幕府の力が更に弱まってきた。
 その様子を見ていた島津久光は英断を下した。西郷を呼び戻したのである。その意味では久光はまさに西郷の恩人であった。
 欧米列強が押し寄せ、大さわざになり取捨がつかなくなった当時の日本。その人心を糾合し、新しい一つの国をつくることのできる人格的魅力と政治能力を持った人物。それは西郷しかいなかった。

二人がそろった、そして回天成る

「わが方に西郷・大久保がいるか。抵抗しても全てはむだじゃ。」
 維新の大業は、大久保の先見性と企画力、そして西郷の人格的魅力で成った。大久保の頑張りのおかげで、仕事人としての野望があった。自分の手で新国家を建設したいという野望。そして西郷にはもう一つ大きな仕事があった。それはこの革命が徳川から島津(薩摩)への覇権交代ではないことの証明。

夜通し歩いて妙円寺参りをした。その後、寝る間もなく、役所に行った。」とある。彼にも仲間と肩を組んで夜を明かした青春の日々があったんだ、と新鮮な驚きを感じるし、一方、公私のけじめ、弱音をはかない、など後年の彼を特徴づける要素が、行間から見えてくる。
 二人とも郷中教育の中で、自分なりに自己を磨き、独自の価値観をつくり上げていったのである。

人物との出会い

そんな若い二人に激動の時代が押しよせてくる。幕末、ペリーの来航である。当時鎖国の日本はにわかに騒然としてきた。
 徳川幕府だけではなく、国全体で有志大名が結束して、この国を守つていこう。そう叫んだ人物がいた。二人の殿様、名君島津斉彬である。

特に斉彬の知遇を得たのは、西郷であった。それは殿様と家臣ではなく、師匠と弟子といった感じであった。西郷は斉彬によって世界に目を向けさせられた。また、斉彬の使用人として国内各地の大人物と会い、見識と友情を深めた。そして、誠実で懐の深い人物として「薩摩では西郷」という世評を得た。この世評が後に明治維新を成し遂げる時に大いに役立つことになる。

西郷自身「どうして身分の低い自分が(斉彬公に)見いだされたか、その事情を未だ知らない。」と後年語っている。斉彬の慧眼に驚くばかりであるし、西郷もよくそのチャンスに応えた。それは郷中で培われた無私大いに役立つことになる。
 西郷は全ての官職を辞して、薩摩の健児とともに故郷に帰った。
 人々の暮らしが向上せず不満がくすぶるなか、そんな西郷への世直しの期待は益々高まっていく。維新への回天は成った。しかし、風雲はまだ去つていなかったのである。



常設展示コーナー(維新ふるさと館)
幕末から明治にかけて、実際に使われていた服やよろい、手紙などが展示されている。

西郷・大久保プライベートリスト

	西郷 隆盛	大久保 利通
生年月日	文正10年(1827年)12月7日	文正13年(1830年)9月26日
兄弟姉妹	隆盛→コト→吉次郎→タカ→ヤス一信君→小兵衛(4男3女の長男)	ナカ→利通→キチ→スマ→ミネ(1男4女の2番目)
身長・体重	178cm 110kg前後	178cm 70kg弱
ファッション	幕末は割とせいたくな羽織、維新後は着流しの服、下駄など	洋服三つ揃え、革靴などスマートなものが多い
血液型	B型(愛加那が保存していた髪で鑑定)	O型(ボマード瓶についていた髪で鑑定)
持病	陰のう肥大、肥満症、心臓疾患	少年時代は胃弱、成人後は健康
生活	ふんどし(お古を取本竜馬に与えた)畳・座布団に正座	洋室、チェア・テーブル(長身の久光のサイズにぴったり)
好物	からいも、おから、うなぎ、番茶、きざみたばこ	家族の団らん・会食が好き、紅茶、シガー(葉巻)
得意科目	中国の歴史(資治通鑑・論語等) 読書一般(ナポレオン伝記等) 剣術は少年時に腕を傷めて苦手	白旗流の達人、乗馬も得意。意外に学問は得意ではなかったとの同時代の人の声も
趣味	相撲、釣り、狩り、湯治、山歩き	株、名所旅行(あまりなし)
遺産	兄孫のために美田を買わず特になし	現金150円、借金8000余円(公的事業の補助に使用)
座右の銘	敬天愛人	為政清明

の自分」という基本がしっかりとあったからであろう。

一方、大久保もこの希代の名君から多くの事を学んだ。後に大久保が明治政府で進めていく《富国強兵》と《殖産興業》は、斉彬の発案した日本国構想であった。その意味では、斉彬の後継者は西郷ではなく大久保であったともいえる。当時大久保には目立ったパフォーマンスはなかったが、じつと斉彬のする事を見ていて、自分の力としたのである。

斉彬との出会いは、二人の特性を遺憾なく教えてくれる。西郷は「人」を、大久保は「内容」を大事にする人であった。

非常事態にどう対応したか

幕末改革を唱える斉彬の前に立ちふさがった人物がいた。大老井伊直弼である。彼は反対派に敵しい弾圧を加えた。これに対し、斉彬は薩摩単人の強兵を率いて上洛し、一気に幕政改革を断行しようとした。「いよいよ時が来た!」若い西郷の胸が高鳴った。ところが、である。その斉彬が急逝したところから、である。その斉彬が急逝したところから、である。その斉彬が急逝したところから、である。

悲報に接した西郷は、ぼう然自失となった。西郷は全てを悲観した。斉彬が彼の全てであり全てが吹き飛んだ。彼は錦江湾に身を投げた。そして息を吹き返したが、幕府に遠慮して奄美大島に流された。

一方、大久保である。「内容」に着目する彼は、斉彬亡き後の実力者島津久光(斉彬の弟で藩主の父)に近づいていく。斉彬の遺志を久光が継ぐことを助けしようとしたのである。

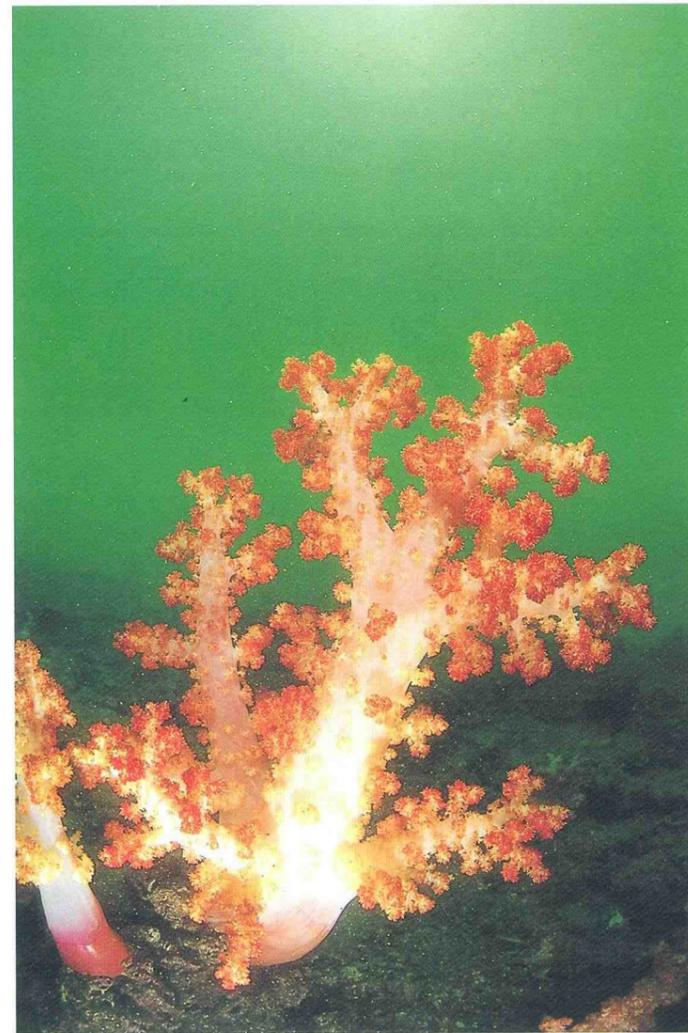


大久保利通(写真) ~黎明館蔵~

そして、抜てきされた大久保は着々と成果をあげ、とうとう西郷復帰まで成し遂げたのである。
 しかし、久光の御前に出た西郷は、あくまでも斉彬にこだわっていた。幕政改革の実行は余人では難しいと直言したのである。その後も久光の命を聞かず、終に久光の怒りを買って、今度は沖永良部島に流された。

島の牢獄という厳しい環境で西郷は一つの言葉に行き着いた。「敬天愛人」である。自分の行動は天に照らして正しかったか、どんな人でも受け入れようとしたか、恥ずかしい限りである。また、天は、人の力ではどうしようもないほど大きいことも感じた。非常事態に西郷はわが身を忘れるほどなげき悲しみ、人との衝突もあった。しかし彼は志を曲げなかった。この人間らしさと鉄の意志が、多くの人々の心を打ち西郷の人望を高めることになった。

一方、大久保はどんな事態にも組織の中枢を占め着々と手を打った。「あとは西郷が帰ってくるだけ」との御購立てで大久保はやり遂げたのである。



写真と文 出羽慎一

「錦江湾海中世界」

鹿児島に来て10年、錦江湾にどっぷりつかった10年間でした。
 錦江湾は、どんなに潜っても、その懐は深く、いつも違った顔を見せてくれます。55万の人々が生活する都市の目前にありながら、多くの生き物が暮らす錦江湾。
 これからもますます錦江湾の魅力にはまりこんでいきそうです。

ISO400 あなたのフォトサロン



タイムよか



ペットボトル ロケット

橋元秀則さん



よかタイム7つの質問

Q1 ペットボトルロケットを始めたのはいつからですか？

A1 私がペットボトルロケットの話を知って、自分なりに考えて作ったのは、六年ほど前のことです。当時、解説書などがなかったので、自分で考えて作っていました。

Q2 ペットボトルロケットを始めたきっかけは？

A2 当時、私は小学校で理科を教えていました。子どもたちに科学の面白さを知ってもらおうと始めたんですが、つい自分が子どもたち以上に熱中してしまいました。

Q3 ペットボトルロケットのおもしろいところは？

A3 自分で工夫する余地が大きいところですね。フィンと呼ばれる羽根の部分を工夫することで、飛び方も違ってきます。自分のオリジナルのロケットを作る楽しみは、何物にもかえがたいですね。

Q4 どれくらい飛ぶんですか？

A4 フィンでスピニングがかかるようにすると、よく飛びます。百二十メートルほど飛んだこともありました。

Q5 どんな原理で飛ぶんですか？

A5 燃料は違いますが、本物のロケットと同じ原理です。水が噴き出す勢いの反動で、飛ぶんです。

Q6 これから、どんなペットボトルロケットを作りたいですか？

A6 今、二段式ペットボトルロケットに挑戦しています。切り離しがなかなかスムーズにいかなくて…。でも、自分なりに工夫をする、この時間が大好きなんです。

Q7 これから始めようとする人へPRを！

A7 自分で考える、自分で工夫できるこのペットボトルロケットは、その工夫が記録として確認できるので、楽しみも大きいですよ。皆さんも、始めてみませんか。

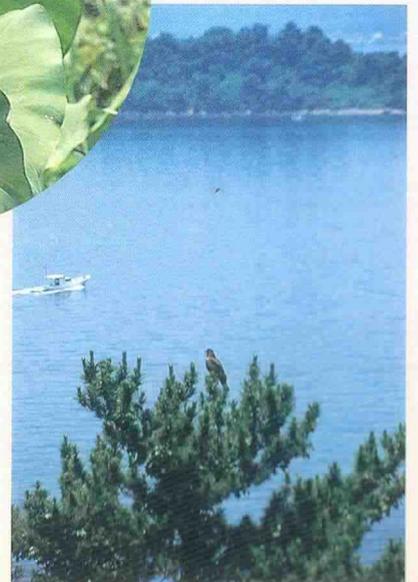
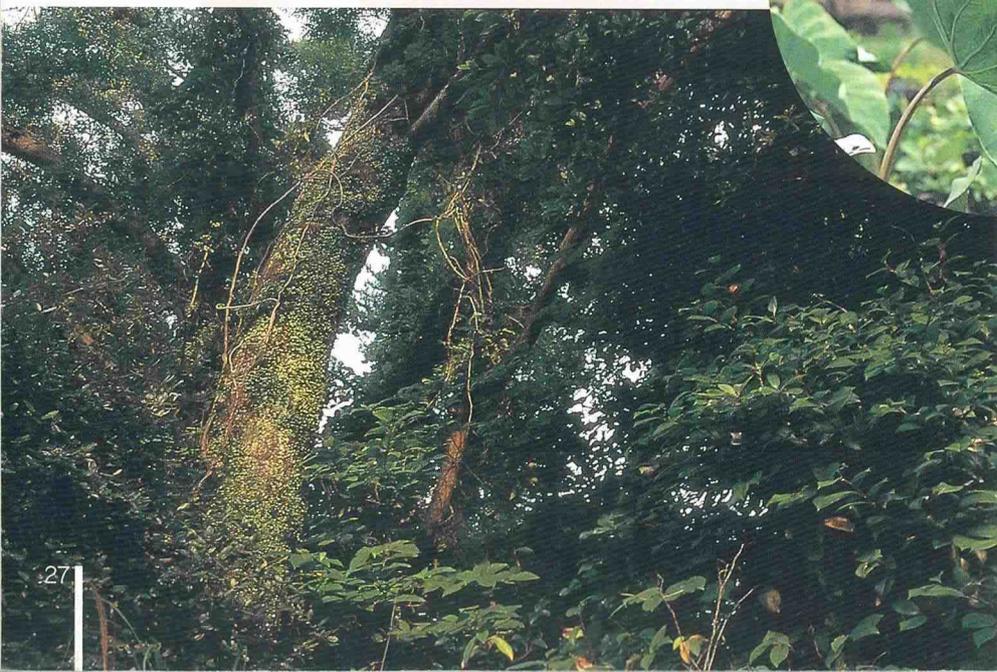


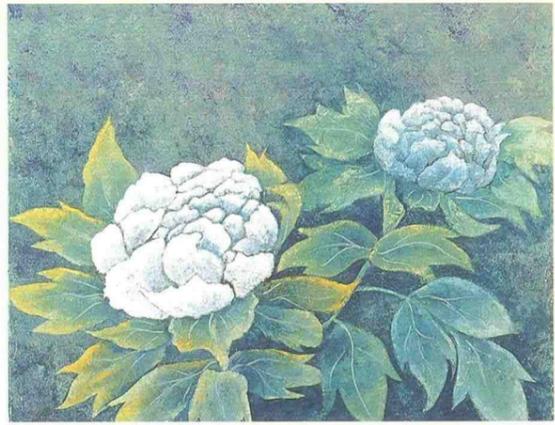
ロケット発射！

「炭酸飲料の入っていたペットボトル、市販の噴射ノズル、そしておもり用の粘土などがあれば、誰でも簡単に作れますよ。」と橋元さん。ほかにも、星の観測、無線、登山、テニスと多趣味。忙しい毎日を過ごしていらっしやいます。子どものような、明るい笑顔が印象的でした。

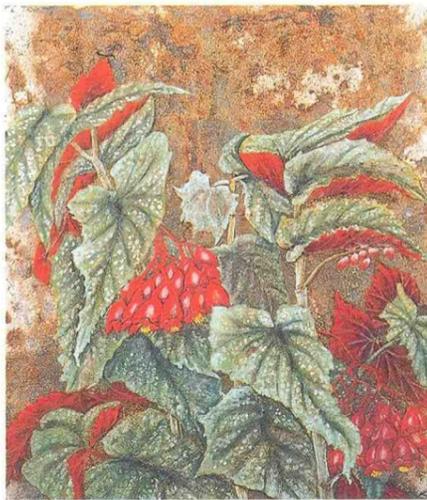
かごしまの自然

東桜島にて





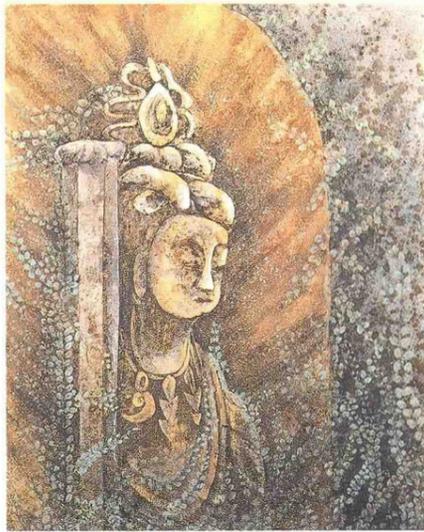
「牡丹」 上床 まつえさん



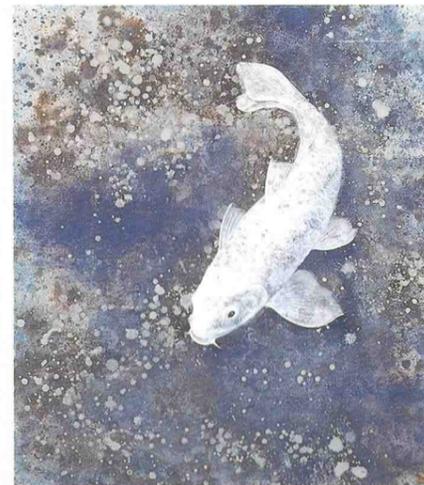
「木立ペゴニア」 濱田 利廣さん



「菖蒲」 浅野 和子さん



「御母影」 西村 郁子さん



「游」 宮山 芙美子さん

萬卷曲
肱裏
永吉雲峰

永吉 静雄さん

希夷不
測然則
龍水書

池田 利子さん

竹涼亭
書勢如
廣瀬成美

廣瀬 成美さん

於榿於
杏又
谷山青山美代

青山 美代さん

且坐
喫茶
南翠書

伊牟田 彰さん

今回は、谷山市民会館の「谷山書道同好会」と日本画「翠会」の作品を紹介します。

谷山書道同好会は、田中柱水先生の指導のもと、毎月第二・四火曜日に活動しています。

初心者から上級者まで、十六人の会員の皆さんは、各種展覧会を目標にして熱心に作品づくりに励んでいます。「やっっているうちに楽しみができてきて...きれいな字を見ると気持ちがいい。」と会長さん。

来年はグループ結成二十周年という大きな節目を迎えます。さらに作品を充実させたいと皆さん意欲に満ちあふれています。

谷山市民会館・利用学習グループ
市民ギヤラン

日本画「翠会」は岩元登美子先生の指導のもと、毎月第三木曜日に活動しています。

昭和六十三年度の谷山市民会館「日本画入門講座」をきっかけに、講座修了生が結成したグループです。「楽しみは、お弁当を食べながら、さまざまな話題で和やかなひとときを過ごすこと」と会長さん。

グループ展を催したり、公募展への応募を励みに、十一人の会員の皆さんは、それぞれの個性を生かし、楽しく作品を描いています。

ふれあいの中で広がる新たな世界、皆さんの作品をどうぞご覧ください。

鹿児島市
維新ふるさと館
Museum of the Meiji Restoration

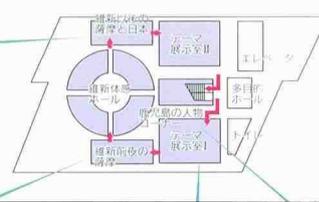


明治維新を成し遂げた西郷、大久保ら鹿児島人の熱いエネルギーをこの「維新ふるさと館」で体感してください！



1F

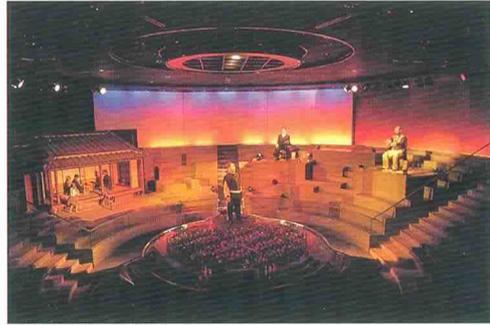
入館してまず目に入るのが、日本初の洋式帆船「昇平丸」の模型。そして「薩摩と世界」「維新の源流」「薩摩の女性」などのテーマからなる「薩摩ガイダンスホール」が、目の前に広がります。また、昨年3月からは常設展示コーナーも設けられ、西郷さん手作りのげたなどが展示されています。



B1F



集成館の建物内部が再現されている「テーマ展示室I」のほか、文明開化当時のハイカラな調度品を展示してある「テーマ展示室II」では、ジオラマの中から映像の人間が語りかけるファンタビューという手法で維新以後の薩摩と日本の姿を再現します。また、「鹿児島島の人物コーナー」では、幕末から明治にかけて各界で活躍した薩摩の人々を紹介しています。



●維新体感ホール
地下1階にある「維新体感ホール」。ここでは、音と光、ロボットを使った臨場感あふれる体感シアターです。幕末から維新にかけての英傑たちが主役となって上演される「維新への道」。見るものを一世紀前の激動の時代へと、タイムトリップさせてくれます。

市営施設 見学会

利用案内

- 開館時間
9時～17時(入館は16時30分まで)
※7/15～8/31は9時～18時(入館は17時30分まで)
- 年中無休
- 入館料

	個人	団体
大人(高校生以上)	300円	240円
小人(小・中学生)	150円	120円

※未就学児は無料。※団体は20人以上になります。

- 維新体感ホール
「維新への道」の上演開始時刻

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
9:15	10:05	10:50	11:35	12:20
第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
13:05	13:55	14:35	15:35	16:30

※上演時間は23分間です。

交通案内

- JR西鹿児島駅から徒歩5分
- カゴシマシティビュー「維新ふるさと館前」下車
- 市電「高見橋」下車徒歩3分
- 駐車場(23台収容)



維新ふるさと館
〒892-0846 加治屋町23番1号 239-7700

維新ふるさと館へようこそ

維新ふるさと館アテンダント
城井恭子さん



ここ維新ふるさと館は、幕末から明治維新にこだわった歴史観光施設です。最新のハイテク技術を駆使して、大人から子どもまで、その当時のことを楽しく分かりやすく紹介しています。

当館の目玉は、何と言っても「維新体感ホール」。音や光、ロボットによる多彩な演出で上演される「維新への道」は、来館者の皆さんに大好評を得ています。

明治維新は、個性的でバラエティーに富んだ数多くの英傑が活躍した時代。そして「生き方を自分で模索する時代」であり、そこに登場してくる人物は、皆、エネルギーで魅力的です。皆さんも、ここ維新ふるさと館でタイムトリップして、明治維新を体感してみませんか。

市立美術館

より誤謬少なき鯨図2×

1988年

諸塗料・アルミニウム

サイズ たて270cm×よこ250cm×奥行き101cm



作家 フランク・ステラ(1936~)

20世紀後半の美術界における、最大の改革者の一人。アメリカのボストン近郊のモールデンに生まれる。

プリンストン大学で美術史と抽象画制作を学んだ後、ニューヨークでペンキ塗りのアルバイトをしながら描いた極めて簡素な作風の「ブラック・ペインティング」で脚光を浴びる。

その後、キャンバスを変形したり、立体的にしたり、金属に着色したりなどのさまざまな試みの中で、作品は次第にダイナミックなものへと変化していく。

初期のシンプルな作品と後期のダイナミックな作品は、まるで正反対の作風のようなが、「絵画とは何か」という問題を真摯に問い、絵画の限界を追求する姿勢は一貫している。

大の車好きで、ヘビースモーカー。現在もニューヨークのスタジオで、第一線の仕事を続けている。

作品解説

一九八六年、ステラは二人の息子を迎えて、大西洋に浮かぶコニー島の水族館を訪れました。ここで息子たちを楽しませてくれたのはペルーガ（シロクジラ）の愛きょうあるしくさでした。一方ステラはこのクジラの体の曲線や、波しぶきに制作のヒントを得ました。

ちょうどこのころ、彼は同郷の十九世紀の作家メルヴィルの『白鯨』を愛読しており、その小説に登場する巨鯨モービー・ディックのファンになっていました。このことから、クジラをモチーフにした作品への構想が芽生えたようです。

こうしてステラは、自由自在な曲線の特徴とする『白鯨シリーズ』の制作に取りかかりました。今回紹介する作品は、このシリーズの中の一点です。素材はすべてアルミニウムで、円盤の前に三つの平面のパーツを立体的に交錯させています。高さは人間の背丈の約二倍で、重量は五百キログラムあるものと思われまます。まさにクジラのような作品といえましよう。

この巨大な立体作品も、壁に掛け、正面から見るように構成されているため、彼自身はあくまで「絵画」だと主張しています。

「いかにして躍動的な抽象画を作りだせるか」というテーマを、約三十年にもわたって追求してきたステラの一つの到達点を示す作品です。

市立美術館学芸員 谷口 雄三

心踊る感動のステージ!!

市民文化ホール自主文化事業

鹿児島市の補助を受けて、国内外の一流舞台芸術を、お求めやすい料金でご覧いただけます。

ブロードウェイ・ミュージカル・カンパニー



本場のミュージカルを、本場の歌と踊りで! 有名なミュージカルの名場面、名曲のオンパレード!

- 日時/10月20日(火) 19時開演
- 場所/市民文化ホール第1ホール
- 入場料/S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円

《プログラム予定》

- ★マイ・フェア・レディ
- ★コーラス・ライン
- ★オペラ座の怪人 ほか

ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー

260年の伝統に輝く世界トップクラスの名門!

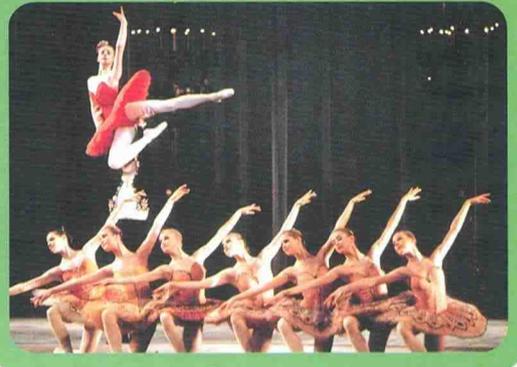
- 日時/7月21日(火) 19時開演
- 場所/市民文化ホール第1ホール
- 入場料/S席:6,700円 A席:5,700円 B席:4,700円

《プログラム予定》

- ★「白鳥の湖」よりアダージョ
- ★「眠れる森の美女」よりパ・ドゥ・トゥウ ほか



鹿児島市出身の
岡元妙織が出演!



辰巳琢郎と巡る音楽の世界

テレビでおなじみの、あの辰巳琢郎が音楽の世界を案内!

- 日時/8月29日(土) 19時開演
- 場所/谷山サザンホール
- 場所/東京ユースカルテット(N響メンバー)
- 入場料/全席指定:3,800円

《プログラム予定》

- ★クラシックの名曲 ★ビートルズ・ナンバー



アンサンブル・ウィーン・ベルリン

ウィーン・フィルとベルリン・フィルのトップ奏者達による夢のアンサンブル!

- 日時/12月5日(土) 18時30分開演
- 場所/市民文化ホール第2ホール
- 入場料/S席:5,000円 A席:4,500円

《プログラム予定》

- ★モーツァルト「セレナーデ」 ほか



民謡ふるさとめぐり

日本列島民謡めぐり!

- 日時/1月30日(土)
〈昼〉14時開演 〈夜〉18時30分開演
- 場所/谷山サザンホール
- 入場料/全席指定:3,800円

《プログラム予定》

- ★ソーラン節
- ★津軽じょんがら節
- ★鹿児島はんや節 ほか



原田 直之



大塚 文雄



山本 謙司



小杉 真貴子

●お問い合わせ 鹿児島市民文化ホール ☎099-257-8111